

下記記載様式を用いて、可能な範囲で記載して下さい。

医療機関名： 浅田レディース品川クリニック

治療実績について

※ 施設における、不妊治療による治療成績を記載して下さい。

(記載様式)

当院において、データの揃っている直近の1年間(2020年1月から2020年12月まで)に、治療開始時点において35歳以上40歳未満である女性に対して実施した治療の実績は以下の通りである。

【新鮮胚(卵)を用いた治療成績】

	IVF-ET	Split	ICSI	合計
採卵総回数(回)	1	100	164	264
移植総回数(回)	0	0	0	0
妊娠数(回)	0	0	0	0
生産分娩数(回)	0	0	0	0
移植あたり生産率(%)	-	-	-	-

IVF-ET：採卵により得られた全ての卵子に対し、体外受精を実施

Split：採卵により得られた卵子に対し、体外受精と顕微授精に分けて実施

ICSI：採卵により得られた全ての卵子に対し、顕微授精を実施

【凍結胚を用いた治療成績】

	融解胚子宮内移植
移植総回数(回)	345
妊娠数(回)	150
生産分娩数(回)	102
移植あたり生産率(%)	29.6

来院患者情報

※ 施設を受診した患者数について記載して下さい。

(記載様式)

データの揃っている直近の1年間(2020年1月から2020年12月まで)に体外受精・顕微授精・胚移植を行った患者数(実数)は

25歳未満：(0)名

25歳以上30歳未満：(29)名

30歳以上35歳未満：(146)名

35歳以上40歳未満：(230)名

40歳以上43歳未満：(131)名

43歳以上：(65)名

データの揃っている直近の1年間（2020年1月から2020年12月まで）に精巣内精子採取術を行った患者数（実数）は

20歳未満：（ 0 ）名

20歳以上30歳未満：（ 0 ）名

30歳以上40歳未満：（ 1 ）名

40歳以上50歳未満：（ 1 ）名

50歳以上：（ 0 ）名

治療指針について

①不妊治療の標準ステップアップを実施しています。

タイミング ⇒ 排卵誘発 ⇒ 人工授精 ⇒ 体外受精（顕微授精）

②体外受精治療においては、卵巣予備能を評価し、年齢要因を考慮した上で、調節卵巣刺激あるいは簡易卵巣刺激を選択して実施

③顕微授精と体外受精（媒精）はスプリット法で実施

④受精卵全凍結（Freeze All）を実施（2012年から）

※新鮮胚移植は実施せず、内膜調整法による凍結融解胚移植を実施

⑤無精子症患者に対し、精巣上体精子採取（MESA）、精巣内精子採取（Micro-TESE）、精管からの精子採取（ReVSA）を泌尿器科医（生殖医療専門医）が実施

詳しくは別紙の基本方針をご参照下さい

医療機関のホームページについて

<http://shinagawa-asada.jp/>

※ 令和4年3月提出分については、2020年1月から12月分までの治療実績・患者数を記載しています。